

町議会からお届けします

かにえの

議会



9月定例会特集号

●26年度決算

一般会計98億1566万円を認定…P.2

●可決された条例など

希望の丘広場に「フットサル場」がオープン…P.4

●蟹江町がもっともっと住みやすくなるように…

9人がいっぱい質問に立つ！…P.5

沖縄伝統芸能「エイサー」

エイサーはこの地域での盆踊りにあたる、沖縄の伝統芸能のひとつです。

沖縄県読谷村伊良皆青年会の皆さんが、迫力あるエイサーを披露してくれました。

8月15日 はつらつ公園にて



特集

9月定例会の主な内容

26年度決算

98億1566万円を認定



定例会の あらまし



27年9月定例会は、9月3日から25日までの会期で開きました。

▼3日(初日)

条例改正案、補正予算案、26年度決算認定案など、あわせて23件が提案説明され、そのうち、3件の人事案件(P4参照)を可決しました。

▼7日(常任委員会)

総務民生常任委員会・防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案6件の審査をしました。

▼10・11日(一般質問)

9人が一般質問(14問)を行いました。

▼14日(決算審査)

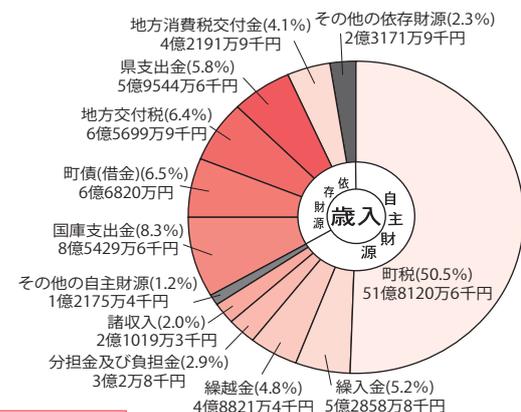
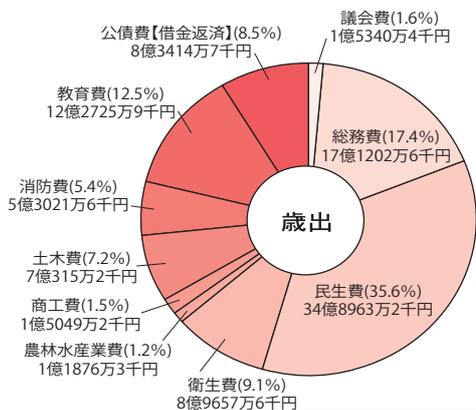
26年度決算認定案を審査しました。

▼25日(最終日)

意見書案1件(P4参照)が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

歳出98億1566万6千円 一般会計決算のなかみ 歳入102億5856万3千円

(自主財源：66.6% 依存財源：33.4%)



※各項目で四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源とは？ 町税や分担金など自主的に収入できる財源です。
依存財源とは？ 町債や国庫支出金のように国や県に依存して調達する財源です。

26年度決算(一般会計、特別会計6件、水道事業会計)認定案を審査し、すべて原案どおり認定しました。
私たちが指摘した一部をお届けします。

26年度決算を審議

決算の審査から

賛成・反対討論

○一般会計

反対 (板倉議員)

他の自治体に比べ、水道料金、保育料が高く、配食サービスもやと週2回になったのが現状で、町民への応援になっていない。

賛成

(吉田議員)

蟹江保育所園庭整備、蟹江高校跡地整備など所期の目的は達成されている。

監査委員の意見

一般会計・特別会計決算審査意見書から(要旨)



伊藤 隆志
監査委員
(議会代表)

各会計の歳入歳出決算などを表す書類を審査した結果、概ね適正に執行されており、その内容は適正であると認められた。

▲議場で審査意見を述べる
平野代表監査委員

主要財源である町税の収入未済額は前年度に比べ減少し、繰り返し電話催告などを行ったことが未納額の減少になった要因であると思われる。

効率的な財政運営に努められているが、各施設の老朽化が進んでおり、今後も修繕が増加すると思われるので、計画的に施設改修を行うことが望ましい。

また、職員管理については、休暇等の取得促進に配慮すべきであり、管理職の退職による事務に支障をきたさない適正な人事管理を望む。

○国民健康保険事業

反対 (板倉議員)

滞納処分より国民の生存権が優先。工夫を凝らした減免施策が求められており、加入者の支援が必要。

賛成

(佐藤議員)

この制度は住民の健康増進に貢献するものであり、円滑な運営に一層努力するよう要望し、賛成する。

○後期高齢者医療保険事業

反対 (板倉議員)

世界でも異例な高齢者いじめの制度は廃止し、以前の老人保険制度に戻すべき。

賛成 (吉田議員)

高齢者が適切な医療を受けられるよう、健全な運営を行うことを要望し、賛成する。

○水道事業

反対 (板倉議員)
内部留保資金を使っ

て水道料金を還元すべき。

賛成 (佐藤議員)

経営基盤の強化とライフラインの整備を推進することを要望し賛成する。

賛成

(佐藤議員)

問 お散歩バスの最終運行時間を午後5時半ごろまで延長できないか。スーパーなどの大型店舗内でバスの発車時刻のアナウンスができないか。

町長

アンケート調査などを実施し、改善していきたい。

問 監査委員の意見の中で、今年も「施設老朽化」の指摘があった。修繕の実施順序や費用などの計画を示すべきだ。

総務課長

公共施設等総合管理計画、財源の見込みな

ど、現在策定中である。

問 不妊治療には精神的、肉体的、金銭的に苦痛を伴う。県の補助だけでなく、町独自の施策を考えるべきだ。

町長

子育て支援に力を入れることは、若い世代の方に、定住、出産していただく絶好のチャ

ンスである。実態を把握し検討したい。

問 いじめや不登校が年々深刻になってい

る。町の現状は。 **教育長**

昨年度、いじめは小

学校はゼロ、中学校は6件であった。不登校は小学校5人、中学校37人であった。

26年度

決算収支状況

◎は全員賛成 ○は賛成多数 (金額は千円単位に四捨五入)

会計別	歳入	歳出	差引	反対者	
○一般会計	102億5856万3千円	98億1566万6千円	4億4289万7千円	板倉	
特別会計	○国民健康保険事業	40億995万5千円	35億9225万4千円	4億1770万1千円	板倉
	◎土地取得	1216万4千円	1216万4千円	0円	
	◎介護保険管理	21億1215万5千円	20億5880万4千円	5335万1千円	
	◎コミュニティプラント事業	960万6千円	909万7千円	50万9千円	
	◎公共下水道事業	13億1033万4千円	12億7956万2千円	3077万2千円	
○後期高齢者医療保険事業	7億2474万7千円	7億2102万4千円	372万3千円	板倉	
合計	184億3752万4千円	174億8857万1千円	9億4895万3千円		
○水道事業	8億2823万3千円	8億5399万8千円	△2576万5千円	板倉	

※各会計の合計額と差引額は、四捨五入したことにより合致しない個所があります。

教育委員に

やまだ
山田かよ子さん



山田かよ子さん

(全員賛成)

任期満了(27年9月30日)に伴い、山田かよ子さん(宝二丁目)の再任に同意しました。任期は4年です。

人権擁護委員に

やすいあさお
安井朝夫さん
きまたまさお
木全正雄さん



安井朝夫さん



木全正雄さん

(全員賛成)

任期満了(28年3月31日)に伴い、安井朝夫さん(富吉一丁目)と木全正雄さん(本町七丁目)の再任が適正と認めました。任期は3年です。

フットサル場
オープン

希望の丘広場の設置及び管理に関する条例の改正

(全員賛成)

旧蟹江高校跡地(新ちあき千秋地区)につくられた社会教育施設「希望の丘広場」に、新たな施設として「フットサル場」が整備され、10月からオープンしました。

補正予算案の内容

○一般会計補正予算の
主な内容

① 中学校の武道館を
改修
4661万3千円

蟹江中、蟹江北中学校の武道館の天井を、落下防止のため改修します。

② 個人番号カード
交付事業
1441万3千円

③ 地域公民館建設費を
助成
2005万円

今地区公民館の建設を助成するものです。

問 このような規模の大きな改修工事は、補正予算で計上するのではなく、当初予算で計上すべきでないか。

次長兼教育課長

国庫補助を受け、来年度に改修する計画となっていたが、補助が今年度で打ち切られることになった。今年度中の改修は補助の対象となるため、補正予算を計上した。

④ 役場駐車場舗装工事
1850万円

役場北側駐車場の舗装を改修します。

意見書を国へ提出

議員の提案により国へ提出した意見書

◆義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

※意見書の取り扱い

町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっています。

フットサル場の利用料金						
	9時～ 11時	11時～ 13時	13時～ 15時	15時～ 17時	17時～ 19時	19時～ 21時
フットサルコート	2時間につき2,100円					
照明施設	2時間につき2,100円					

会計別	補正額	補正後の額	審議結果
一般会計(第2号)	1億877万5千円	95億8078万2千円	全員賛成
国民健康保険事業	1215万9千円	41億5216万3千円	全員賛成
介護保険管理	5611万6千円	22億1437万5千円	全員賛成
コミュニティ・プラント事業	50万9千円	1004万円	全員賛成
公共下水道事業	3077万円	12億3350万7千円	全員賛成
後期高齢者医療保険事業	3506万7千円	7億6216万3千円	全員賛成

町の活性化につながる「地方版総合戦略」を作れ



しんぼう 新風 しみずの としみ 水野 智見

A 若者の意見を吸い上げ、総合戦略の作成に取り組みたい。



▲プレミアム付商品券に続く事業を検討するの

問 「若い世代の定住」が、まちの活性化につながる。愛知大学を含めた関係機関との連携に取り組みたい。

政策推進課長 役場の若手職員が未だの蟹江町について語り合う「しゃべり場」にも、同学生が参加した。今後は、若者の意見を吸い上げ、町の総合戦略の作成に取り組みたい。

用語説明ですよ！

※地方版総合戦略とは？
地域活性化と人口減少克服のため、政府が自治体に27年度中の計画策定を求めているもので、今後5年間の町が取り組む「地方再生計画や長期的な人口目標」などについて定めます。

ふるさと振興課長 利用者のアンケート、登録事業者の実態調査を行い、その結果をみて考えていきたい。

問 総合戦略を作るための国からの人的支援「地方創生人材支援制度」、「地方創生コンシエルジュ制度」を活用せよ。

政策推進課長 これらの制度の活用については、これまでも国や県に直接相談してきたので、今後も必要に応じて対応していきたい。



いとうしゅんいち 伊藤 俊一 無党派

「須成祭」は町がバックアップせよ！

A 治安、警備、インフラ整備など検討する。



▲祭のメイン会場の集客能力は限界がきている

問 町長は、須成祭を「蟹江町の祭」と言っているが、何をもってこのように言っているのか。

町長 450年の歴史を持つ須成祭は、まさに「町を代表する祭」であると思っている。

問 祭のメイン会場の集客能力は限界がきている。町は対策を考えているのか。

町長 県道、川の占有を含め、観覧席やトイレの設置などを検討をしている。

問 引き続き安全確保のため考えていきたい。

問 観客数が増える中、危険を少しでも減らすため、ガードマンの配置や堤防のガードレールの整備、駐車場・駐輪場・トイレの設置など、来年の須成祭までに進める考えはないか。

町長 治安、警備、インフラ整備などを検討する。来年までにこれらの対策ができるかどうかはお答えできないが、具現化するために、予算等の検討をしていきたい。

“上下水道料金” 値下げできないか!

Q

A

少子高齢化時代に沿った料金体系を考えていきたい。



日本共産党 いたくらひろゆき 板倉浩幸



▲水道使用料の値下げはできないのか

用語説明ですよ!

※海部南部水道とは?
海部南部水道企業団のことで、弥富市と飛島村の全域と、愛西市と蟹江町の一部(富吉一丁目と蟹江新田の一部)に水を供給する一部事務組合です。



問 町内の海部南部水道について、①世帯数は。②同じ町に住んでいて水道料金が違うのはなぜか。③高い海部南部水道を町の水道に変えられないのか。
次長兼水道課長 ①591世帯である。②水道供給者により、規模や運営費など、それぞれ違うためである。③海部南部水道へは補償費と本町に対する加入分担金などを払う必要がある。それを負担することになる加入地区の皆さんの承諾がいただけるかが問題である。

問 基本使用量を使っていない世帯も多くある。本町は、県下で4番目に高い水道料金はどう考えているのか。
次長兼水道課長 水道事業は独立採算制が原則であるため、規模などにより料金が異なってくる。

問 水道事業での利益と内部留保資金を還元して、水道使用料の値下げはできないのか。
次長兼水道課長 安心・安全な水を安定的に供給するよう経営努力をし、少子高齢化時代に沿った料金体系を考えていきたい。



▲高齢者の安否確認ができる条例を作れ

Q

高齢者の安否確認ができる条例を作れ!

板倉浩幸議員②

A

情報を共有できるよう
条例制定に向けて努力をする。

問 地域による見守り活動において、個人情報保護法が立ちはだかり、情報の活用を理解を示さない過剰反応はないか。

次長兼高齢介護課長 1人暮らしの高齢者や高齢者世帯が安心して暮らすことのできる地域をつくるためにも、

問 町内で見守り活動をしていない「企業・団体」を、町は把握しているか。

次長兼高齢介護課長 安否確認サービスを実施している新聞販売

問 町内で見守り活動をしていない「企業・団体」を、町は把握しているか。
問 店、電気事業者、介護事業所、配食サービス業者、消防や警察など把握をしている。

問 町内で見守り活動をしていない「企業・団体」を、町は把握しているか。
問 県の手引きを活用し、早期に「見守りネットワーク体制づくり」に取り組み、高齢者の安否確認に関する条例の制定が必要ではないか。

町長 個人情報保護法の厚い壁があるが、情報を共有し活用していくために、条例制定に向けての努力をさせていた

だ。



まつもと まさみ
松本正美
公明党

Q 防災・減災避難対策を万全にせよ

A 地域防災訓練後にアンケート調査を行い、今後の取り組みの参考にしたい。



▲防災訓練を強化し、住民の防災意識を高めよ(本町連合会)

問 町の防災訓練を強化するため、住民の防災意識を高める事前防災への取り組みと、地域防災力強化のためのアンケート調査を実施せよ。
次長兼安心安全課長 地域の自主防災活動の支援に取り組んでいる。今後は地域の防災リーダーの養成を進め、町全体のさらなる防災意識の高揚に努めていく。

問 要援護者にとって、「福祉避難所」の確保は重要だ。この避難所の普及・確保に取り組みせよ。
次長兼安心安全課長 福祉避難所として、社会福祉施設などを福祉部局と協力し選定している。今後は、施設管理者との協定書の締結に向け努力したい。

問 災害時の火災対策は重要だ。地震電気火災対策として、感震ブレイカー設置補助事業を作れ。
次長兼安心安全課長 他の自治体を参考に、補助制度創設に向け、検討したい。

Q 保健予防と地域包括ケア対策を図れ

A 地域包括支援センターの充実強化を図っていききたい。

松本正美議員②

問 国民健康保険加入者の生活習慣病の予防と医療費削減に大きな効果が期待されている「データヘルス計画」を作れ。
保険医療課長 来年度に策定する。この計画により、被保険者の健康増進、医療費の適正化に努める。

問 認知症初期集中支援チームの設置が求められている。そこで、認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員を設置せよ。
次長兼高齢介護課長 緊急時の連絡体制を整備している地域包括支援センターに拠点を置くことを検討している。

問 地域包括支援センターの機能強化を図れ。
次長兼高齢介護課長 認知症対策や地域ケア会議の推進、在宅医療・介護の連携強化など、機能強化に向け進めていきたい。

用語説明ですよ!

- ※**データヘルス計画とは?**
特定健診や診療報酬明細書などのデータを分析活用し、効果的かつ効率的な健康づくりや疾病予防を行う事業です。
- ※**認知症初期集中支援チームとは?**
認知症が疑われる方や認知症の方とその家族を訪問し、家族支援などを行い、自立支援のサポートを行うチームです。
- ※**認知症地域支援推進員とは?**
認知症の方に適切な支援が行われるよう医療機関や地域包括支援センターなど、地域の支援機関との連携を図ります。

また、地域の皆さんにとってより身近な存在となることを目指し、情報発信に努めたい。

Q 米作りの指導ができないか



しんせいikai 新政会 さとう しげる 佐藤 茂

A 農地を賃借する「利用権設定」の利用・促進を進めたい。



▲地域の特性に合った米作りを指導せよ

問 米作りは高齢化し、後継者は会社勤めで忙しく、米の値段はますます安くなる。この現状をどう思うか。

次長兼土木農政課長 町にはまとまった農地が少なく、集落営農を行えないので、これからは地区全体をまとめるのが良いと考える。

問 町指導で、国が出してきた施策「農地中間管理事業」に参加できるように声をかけよ。

次長兼土木農政課長 農協主催の生産班長会にて説明は行っている。

用語説明ですよ!

※農地中間管理事業とは?
地域の分散した農地を「農地中間管理機構」が借り受け、まとまりのある形で利用できるように配慮して借受希望者に貸し付ける事業です。

問 兼業農家にとって一番良いと思われる「利用権設定」とは、どんな事業か。

次長兼土木農政課長 地主と認定農業者が賃借料の話し合いをし、農業委員会に申請を行い、承認を受ける。期間内の途中解約も認められ、本町のような都市近郊型農業にはこの制度の活用が一番合っている。



▲効果的なPRで消防団員の確保を!

問 消防団員の確保には大変苦労している。イベントでのPRなど効果的な募集は考えられないか。

消防長 現在、訓練やイベントなどでPR活動をしている。今後は、成人式や町内会の行事などでもPR活動を行っていききたい。

問 女性消防団員が誕生した。今後どのような活動を考えているのか。

消防長 応急手当普及員の資格を取得し、救命講習会などで活動すること、保育所での花火指導を消防職員とともに行うことなどを検討している。女性消防団の操法

Q 佐藤 茂議員② 消防団員の確保に努めよ

A 成人式など、いろいろな行事でPR活動を行っていききたい。

大会への出場も考えていきたい。

問 平日、日中の団員不足を解消するための協力隊員制度は、どのような方を対象としているのか。役場職員でも可能か。

消防長 町内在住・在勤の方で、消防団員・消防職員を経験した方を対象としている。要件を満たしていれば、役場職員も可能である。



無党派 戸谷裕治

Q “水に強い”まちづくりを目指せ!

A 水路整備や排水ポンプの能力アップなど、できる範囲で進めたい。



▲住宅密集地で何度も起こる冠水

問 近鉄蟹江駅を囲む南北の地域で、毎年大雨による冠水が同じ場所で起こる。周辺水路のしゅんせつ(へド口)の除去はどうか。

次長兼土木農政課長 幹線水路は、排水機場の遊水池から順次行い、道路側溝は、2割程度たまったところから行っている。

問 排水機の能力アップにより、この冠水被害は解決するのか。水路の再整備は考えていないのか。

次長兼土木農政課長 計画的に排水機場の整備を進めているが、突発的かつ長時間の集中豪雨による冠水の心配は拭い切れない。今のところ水路整備の計画はないが、今後まちづくりを進める中で整備する必要がある。

問 町は、「町民の安心安全」を一番に考えるべき。同じ場所が起こる冠水を宿命として放置してもいいのか。

町長 水路整備や排水ポンプの能力アップなど、できる範囲で行っている。今後も、農業団体や地域の方々の協力を得ながら対策を進める。

再度問う JR蟹江駅北口、終日改札を!

A 駅周辺地域の活性化のためにも、橋上駅は必要であると考えている。



未来フォーラム 黒川勝好

問 JRは、町が新たに北口改札を設置することには、「町の財源確保などが将来的に確約できない、JRにもリスクが伴う」という理由から、「NO」というっておきながら、どうして橋上駅舎化は「OK」になるのか。

産業建設部長 JRの考えは、どの自治体に対しても同じで、新たな改札口は全て「NO」である。唯一認められたのが、南北に整備した駅前広場を自由通路で結び、駅を橋上化することであった。

問 費用対効果を考えるなら、現在ある「北口自動改札」を「終日改札」にしていただくよう、JRに強く要望すべきではないのか。

町長 北口改札の常時開設は、精いっぱいJRと交渉してきた。橋上駅舎化はJRのためにするのではない。将来を見据え、駅周辺地域の活性化のためにも、橋上駅は必要であると考えている。



▲午前9時までしか利用できないJR蟹江駅北口自動改札

Q 病児・病後児保育を実施せよ

A 延長・早朝、病児・病後児保育も行い、安心だと思えるまちにしていきたい。



みらいフォーラム 飯田 まさひろ
飯田 雅広



▲病児・病後児保育を実施すべき

用語説明ですよ!

※病児・病後児保育とは？
病気の子ども(病児)や病気は治りつつあるけれども、通常保育は難しい子ども(病後児)を、専用の施設やスペースで一時的に保育する事業です。



問 子育て支援策として、「病児・病後児保育を実施すべき。そこで、①県内54市町村中34市町が実施しているが、本町の実施予定は。②実施予定の事業者はあるのか。

町長 ①病児保育を中心にやるべきだと考えている。これには医療機関との連携が絶対必要なので、町がサポートする形で進めていきたい。
子育て推進課長 ②今現在はない。

問 病児・病後児保育を行うには看護師等と保育士が必要である。

そこで、①職員の保健師と保育士を活用し、町が運営してはどうか。②できるとしたらいつからか。できないのであれば理由は何か。

子育て推進課長 ①現在の人数、体制のまま実施するのは大変厳しい。医療機関での実施を第一に考えている。②町が直接実施するには新たな保育スペースの確保、職員配置の検討が必要となる。また、補助制度がない中で、建設費などが問題となってくる。

問 親は子どもが学校から帰ってきたら外で元気に遊んでほしいと思っている。

そこで、子どもの健康やかな成長を考え、①蟹江小学校ですで行われている「ノーテレビ・ノーゲームデー」他の小学校でも取り組んでどうか。②利用率の低い公園を整備し、利用の促進を図れ。③ボール遊びのできる公園を増やせないか。

町長 ①「ノーレレビ・ノーゲームデー」は必要であると考えている。保護者主体の取り組みを、学校と共に進めていく

飯田雅広議員②
「ノーレレビ・ノーゲームデー」の実施と既存公園を有効活用せよ

A 親子の会話が増える「ノーレレビ・ノーゲームデー」は進めていきたい。

のが良い。
活用いただきたい。今後は地域の方々と相談し、考えていきたい。

教育長 ①学校として、今後とも家庭の支援を行いながら、子どもたちの生活リズムの改善に取り組んでいきたい。
まちづくり推進課長 ③ボール遊びができる場所は限られているが、今後検討したい。



▲草が生い茂る須成保育所南の公園



しんぷう 新風

あんどうよういち 安藤洋一

Q 西尾張中央道西地域に“にぎわい”を取り戻そう！

A 全ての町民の方が利用できる温泉を生かした施設を作りたい。



▲図書館周辺を「総合文化エリア」として再開発できないか

問 老人福祉センター分館跡地に新施設を建設する構想があるが、その際には多世代、多地域の人々が交流できる「かわの駅構想」の復活をお願いしたい。
次長兼高齢介護課長
若手職員によるプロジェクトチームで、健康福祉をテーマに、多世代が利用できる温泉

を生かした施設を検討している。

問 図書館周辺を「総合文化エリア」として再開発を計画してはどうか。その中で図書館利用者数の底上げを図ってはどうか。
次長兼教育課長

指定管理者制度、民間委託の事例も踏まえ、文化的エリアの位置づけとしての開発を含めて、総合的に検討したい。

問 新施設を建設する際には、津波・洪水避難所としての機能を充実させてほしいがどうか。
次長兼高齢介護課長

防災上の機能を備えた施設を検討したい。

安藤洋一 議員②

Q 近鉄蟹江駅及び周辺の将来展望を問う

A 駅の開発と周辺の市街化整備、インフラ整備も進めていきたい。

問 近鉄蟹江駅前は今々混雑がひどくなっている。

まちづくり推進課長
①早期完成を目指し努力している。

そこで、①駅前ロータリーの整備はいつ頃か。②駅前の混雑が緩和された後には、駅北道路を今の一方通行から対面通行にし、スムーズなアクセスを図れないか。

まちづくり推進課長
第4次総合計画で橋上駅の構想を掲げているが、具体的な計画立案にはまだ至っていない。

問 駅への南北からの迅速なアクセスやバリアフリーなどの近代化

問 蟹江駅とその周辺の将来展望を伺いたい。
町長

町の顔は鉄道である。町内3つの駅を結ぶ動線の確保、駅の開発、市街化整備、インフラ整備を進め、体験型の観光に適した町にしていきたい。



▲通勤ラッシュ時には混雑する近鉄蟹江駅の駅前ロータリー

委員会の審査

9月議会で上程された案件について、委員会にて審査した要旨をお届けします。

総務民生常任委員会では、5件の議案を審査し、うち4件を全員賛成、1件を賛成多数で承認しました。

表彰について
(全員賛成)

問 保育所遊具は、どのような経緯で寄付していただいたのか。

子育て推進課長
蟹江保育所の入所児童の保護者が、寄付していた会社を勤めており、保育所に大変お世話になったため、遊具を寄付していただくことになった。

個人情報保護条例の一部改正
(賛成多数)

問 個人番号はどのように管理されるのか。

総務課長

個人番号は国が付番し、町と国、それぞれのサーバーで厳重なセキュリティをかけて管理する。

問 個人番号制度の町としてのメリットは。

総務課長

例えば、課税のために町へ提出される給与支払報告書の生年月日や住所などを特定できるなどのメリットがある。

問 10月から個人番号が配布されるが、どれくらい配布できないと予想しているか。配布できなかった場合の対応策は。

住民課長

2000人弱が配布できないのではないかと推測している。配布できない場合は、所在を探し、約3ヶ月判明できなければ廃棄となる。

反対
(板倉議員)

莫大な費用と手間を掛け、国民のプライバシーを重大な危険にさらす個人番号の導入より、現在のシステムを活用し、業務の効率化と住民の利便性を高めるべきだ。

賛成
(水野議員)

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い必要である。

希望の丘広場の設置及び管理に関する条例の一部改正
(全員賛成)

問 使用料金等の設定根拠と、町内の民間フットサル場との兼ね合いは。

生涯学習課長

蟹江中学校の夜間照明、体育館の使用料を参考に、2時間につき2100円とした。

民間フットサル場のほうが高いが、これは、ボールやビブスの貸し出しなど、付加価値をつけているからである。



静岡県浜松市のJR高塚駅を視察



去る8月20日、町が計画しているJR蟹江駅の橋上駅舎化の参考にするため、乗降客数や駅周辺の環境、事業総工費などが類似している静岡県浜松市のJR高塚駅を視察しました。ほとんどがガラス張りとなっており、とても明るく感じられたのが印象的でした。

編集後記

この9月定例会の議会だよりが届くころは紅葉の季節です。

議会では、一般質問が2日間、決算審査など活発な意見が交わされました。

最終日には、蟹江町版総合戦略(町の将来に向けたまちづくり)の策定に向けて協議しました。

今後とも、ご愛読よろしく申し上げます。

(水野)

12月議会の傍聴にお出かけください

議会放映

一般質問の様子をローパーTVで生放映。当日午後7時から再放映も実施!

※議会ホームページにも掲載されています。

1日(火) 開会	14日(月) 一般質問
2日(水) 1日の予備	15日(火) 14日の予備
4日(金) 常任委員会	17日(木) 閉会

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。傍聴席は役場3階にあります。

【問い合わせ】議会事務局 電話(95)1111(代表)